

ユニセフ講座のご案内

「中東の歴史」をおさらいし、ヨルダンのことを知ろう！

ニュースなどで聞く中東のことを今一度、学んでみませんか。ユニセフが緊急支援している中東の国々（アフガニスタン、イエメン、シリア、パレスチナ自治区など）の歴史を中学校社会科の教師をされた佐藤敦士さんから学び、ヨルダン出身のマラクさんの実際の生活や文化についてのお話を聞く講座です。

日時 2024年**10月5日** 10:00～12:00

会場 岩手教育会館 カンファレンスルーム

定員 50名 参加費 **無料** (要予約)

講師 前半：佐藤敦士さん (岩手県ユニセフ協会花巻支会会長・元中学校社会科教師)

後半：マラク・アブダヤさん (ヨルダン出身盛岡在住22歳)

受付 9月1日受付開始 岩手県ユニセフ協会まで



▲講師 前半 佐藤敦士さん



▲講師 後半 マラク・アブダヤさん

ユニセフ出前講座

岩手県ユニセフ協会では、ユニセフ出前講座の講師を派遣しています。世界の子どもの現状やユニセフの支援を、映像や体験をまじえて学ぶことができます。日時・内容・年齢などは相談しながら対応します。お気軽にご連絡ください。



▲金ヶ崎町立永岡小学校

今日ユニセフのDVDで見た事は本当のこと。困っている人を助けるヒーローは誰？それはみんなだよ！

子どもたちの感想文より

- 一番びっくりしたことは、1000人のうち100人が5歳になる前に死んでいる国がある事です。
- 水がめを持ってみて、これを8時間もかけて運ぶことはたいへんな仕事だと思いました。
- 水道から出る水を飲むことはあたり前じゃないということがわかった。
- マラクさんの「ヒーローはぼくたち」という言葉に勇気づけられました。

ユニセフユースボランティア募集!

ユニセフ講座の講師、ヨルダン出身のマラクさんとユニセフについて学びながら、新しい視点をユニセフに取り入れることを目的に、活動する仲間を募集します!

- ◆国籍：不問
- ◆定員：15人
- ◆年齢：18～30歳
- ◆活動期間：2年間 (8月～開始)
- ◆活動内容：ZOOMでミーティングや学習・イベント企画など
- ◆問い合わせ 岩手県ユニセフ協会 (下記)

ボランティア募集

ボランティアは、募金活動やイベントの運営を行います。一緒に活動するボランティアを募集しています。



賛助会員募集

賛助会員制度は、日本国内で行うユニセフ募金活動や、広報活動、啓発活動などを会費によってご支援いただく方法です。「日本ユニセフ協会賛助会員」の会費の50%は、岩手県ユニセフ協会の活動に使われます。寄付金控除の対象となります。会員のみならずにはニュースやイベント案内をお届けしています。賛助会員へのご入会をお願いいたします。

一般会員 (個人ならどなたでも) 1口 / 5,000円

学生会員 (18才以上の学生) 1口 / 2,000円

団体会員 (団体・法人・企業) 1口 / 100,000円

● 申込書をご希望の方には郵送いたします

集めています!

これらも募金になります

- ・使用済み切手
- ・書き損じはがき
- ・外国コイン



※お持ちの方は、ご連絡ください。



Iwate Association for UNICEF

2024年7月

【発行】

岩手県ユニセフ協会

〒020-0690
岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail : sn.iunicef_iwate@todock.coop
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

ガザ 命の危機にさらされる子どもたち

©UNICEF/UNI539219/ZAGOUT

ガザ地区で戦闘が始まった2023年10月7日以降、ガザ地区および東エルサレムを含むヨルダン川西岸地区一帯で、子どもたちが未曾有の暴力にさらされています。ガザの人口の約半分が子どもで、約85万人の子どもが避難を強いられています。彼らは、南へ南へと追いやられ、狭い土地に多くの人押し込まれ、食料も保護も、生きていくために最低限必要な物もなく暮らしています。

脱水症状、栄養不良、疾病によって子どもたちの命は脅かされており、支援物資の搬入が制限されていることから、状況は悪化の一途をたどっています。ガザ地区の人口の半数にあたる100万人以上が壊滅的な食料不安に直面し、飢饉が迫っていることがデータから示されています。こうした深刻な状況の中、ユニセフ(国連児童基金)の支援はこれまで以上

に必要とされています。

この紛争が始まって以降、ユニセフが行った重要な対応には以下のようなものがあります。

- 3万人の子どもと2万人の妊婦に、栄養価の高い食品を提供
- ガザ地区とヨルダン川西岸地区の60万人に医療用品を配布。5歳未満の子ども33万人に対する予防接種の支援を強化し、100万回分以上のワクチンを届ける支援
- 井戸や淡水化プラントを稼働させるための燃料を提供し、ガザの160万人に安全な水を供給
- 15万人の子どもと養育者に、救急サービスと子どもの保護サービスを提供

子どもと民間人の殺傷に終止符を打つために、即時かつ永続的な停戦をユニセフは断固として訴え続けていきます。

ユニセフ募金にご協力をお願いします

下記の口座については窓口の場合、硬貨手数料・振込手数料ともにかかりません

《郵便局》(ゆうちょ銀行) 振替口座

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

※通信欄に「ガザ」と明記してください。
※明記がない場合は一般募金になります。

振込用紙をご希望の方は、岩手県ユニセフ協会へご連絡ください。

TEL 019-687-4460 (月～木 / 10:00～15:00)

ごあいさつ

岩手県ユニセフ協会 会長
日本赤十字社理事

守谷祐志



前会長の小川彰岩手医科大学理事長の突然のご逝去により、急遽岩手県ユニセフ協会の会長に就任いたしました守谷です。

私とユニセフとのつながりは、昭和32年(1957年)頃の粉ミルク(脱脂粉乳)給食に遡ります。小学校上級生でありました私ら児童にとりまして何よりの栄養源でもあったのです。味はお世辞にも「おいしい!」とは言えませんが…敗戦国日本の児童の体力増強に深い関心を抱いてくれた、かつての敵国アメリカの市民の皆様にも感謝の気持ちを持ちました。私一人だけではなかったと思い起こします。この「お世話になった」との想いは、次の世代、その又次の世代へとぜひとも『恩送り』しなければと数十年間、私の胸の中にもありました。

20数年前、岩手にもユニセフ運動の風が吹いてきました。当初はささやかな微風でありましたが、雑用係でもポスター貼りでも何でもやると、私も運動員の一人として参加させていただき、今日にいたっています。

ユニセフは世界の子どもたちの生命と健康を守るために世界各地で活動している国連の機関です。子どもたちの生命を守り健やかに成長してほしいと願っている世界中の人達の代弁者として、ガザの現在の状況、ウクライナの理不尽な姿に現地の子どもの安全安心を重ねあわせ心を痛めている毎日です。

私たちにできることを一歩ずつ確実に進めていきたいと願っています。「すべての子ども達が安全に生れ、すこやかに成長していけるよう」ともにユニセフ活動を岩手に拡げていきましょう。

ご協力をお願いいたします。

岩手県ユニセフ協会役員

役職	お名前	役職名
顧問	達増拓也	岩手県知事
顧問	三浦宏	㈱岩手日報社相談役
顧問	東根千万億	㈱岩手日報社特別顧問
会長	守谷祐志	日本赤十字社理事
副会長	飯塚明彦	岩手県生活協同組合連合会会長理事
専務理事	小川智	岩手大学学長
常務理事	石橋百合子	いわて生活協同組合副理事長
	安藤厚	元岩手県教育委員長
	佐藤愛理	いわて生活協同組合常務理事
	佐藤敦士	岩手県ユニセフ協会花巻友の会会長
	沼田聡	岩手県学校生活協同組合専務理事
	吉田敏恵	岩手県生活協同組合連合会専務理事
理事	石亀健	岩手県小学校長会常任理事
	内館茂	岩手県市長会盛岡市長
	及川公子	NPO法人岩手県地域婦人団体協議会会長
	鎌田英樹	㈱IBC岩手放送代表取締役会長
	齋藤秋工	㈱岩手めんこいテレビ代表取締役社長
	佐藤水久	岩手県教職員組合中央執行委員長
	猿子恵久	岩手県町村会栗石町長
	柴崎一恵	もりおか女性の会会長
	祖父江憲治	学校法人岩手医科大学理事長
	佐々木秀毅	岩手県中学校長会常任理事
	高橋トシ	岩手県ユニセフ協会花巻友の会
	田代耕一	立正佼成会盛岡教会長
	田中健太郎	NHK盛岡放送局長
	富山大	㈱岩手朝日テレビ代表取締役社長
	福士千恵子	㈱テレビ岩手代表取締役社長
	本間博	㈱岩手県医師会会長
	増子義孝	岩手県立大学名誉教授
	山下泰幸	㈱岩手県PTA連合会会長

役職	お名前	役職名
監事	磯田朋子	岩手県消費者団体連絡協議会事務局長
	大志田明德	岩手県学校生活協同組合管理部長
評議員	赤間妃史	いわて生活協同組合理事
	荒道泰之	㈱川徳代表取締役社長
	伊藤清孝	岩手県農業協同組合中央会代表理事会長
	伊藤裕一	日本労働組合総連合会岩手県連合会会長
	伊藤良正	盛岡ライオンズクラブ会長
	小田島順造	岩手県私学協会会長
	川村隆枝	盛岡ソシエテ会長
	高橋和恵	ガールスカウト岩手県連盟長
	高橋一佳	岩手県高等学校長協会会長
	高橋克彦	作家
	高橋富一	岩手県商工会連合会会長
	多田英史	岩手県市町村教育委員会協議会会長
	長岡弘子	国際ソロプチミスト盛岡会長
	中野圭	(公社)日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会会長
	中野るみ子	岩手県労働組合連合会議長
	長山洋	㈱岩手県社会福祉協議会会長
	野田喜代志	㈱エフエム岩手代表取締役社長
	松田恵美子	岩手県青年団体協議会会長
	向井田敏宏	日本ボーイスカウト岩手連盟事務局長
	村上智加子	岩手県高等学校教職員組合執行委員長

2024年4月19日現在(敬称略)

3月に急逝された岩手県ユニセフ協会小川彰前会長のご冥福をお祈り申し上げます。

花巻友の会35周年記念 荒野に希望の 灯をともし上映会

～林正文前会長を偲んで～

と き / 2024年4月14日(日)
13:30 ~ 16:00

と ころ / 花巻市文化会館 中ホール
後 援 / 花巻市 花巻市教育委員会
来場者 / 222名

当日の募金
69,221円
(うち3万円をペシャ
ワール会へ寄付)



▲ボランティアスタッフと青少年ユニセフ友の会(高校生)



岩手県ユニセフ協会花巻友の会は、1989年設立から35周年を迎え、記念の映画会を開催。中村哲医師が、アフガニスタンの人々と用水路の建設に取り組む姿を追ったドキュメンタリー映画。「人生をかけて誠実に命の尊さを伝えた中村医師に感銘を受けた」「武器で人や自然を破壊する事の愚かさを教えてくれた」などの感想が寄せられました。上映後の谷津賢二監督のトークでは、中村哲氏の精神が宮澤賢治と重なることが話され、それは林正文前会長とも重なっており、設立から尽力された林前会長を偲ぶにふさわしい会となりました。



▲オープニングでは、林前会長を偲んで、宮澤賢治の「星めぐりの歌」をみんなで歌いました。

ラブウォーク報告

と き 5月12日(日) 8:45 ~ 12:30
と ころ 盛岡城跡公園スタート・ゴール
後 援 県教育委員会 盛岡市教育委員会
滝沢市教育委員会
協 賛 いわて生協 コープ共済
コース ・中津川河川敷 5kmコース・10 kmコース
・公園内散策コース
参 加 116名(大人102名、18歳未満14名)
募金額 56,191円(参加費と募金)



さわやかなお天気の中、3コースに分かれてウォーキング。
みんな、元気に歩きました!



▲出発式進行係 盛岡大学 武田有宇さん



ふだん歩かない道を歩いて心地よい疲れを感じました

◀ 5kmコース



歩きなれている方々は余裕の歩きでした

◀ 10kmコース



盛岡城跡公園は知らないことがたくさん!

◀ 新設の公園内散策コース